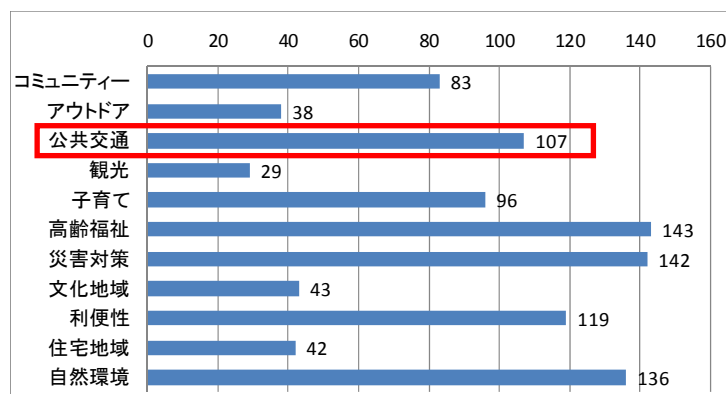


○アンケート結果（地域の生活利便性（買い物や公共交通の利便性）を高めるための施策）



(4) 北郷地域金太郎計画 2020 平成27年3月【※北郷地域金太郎計画推進協議会】

いちばん暮らしやすい ふるさと 北郷

1 豊かな自然を次世代へ

富士山の眺望・豊かな水・穏やかな田園風景など、北郷地域の素晴らしい自然を守り、育み、活用し、自然の豊かさを大切に思う心を、次世代に引き継いでいきたいと思います。また、穏やかな風景を育んできた歴史や伝統を守り、情報として発信していきたいと思います。

具体的な活動案

- ①富士山の眺望を生かした地域景観づくり
- ②穏やかな田園風景などの保全
- ③歴史や伝統の継承
- ④“(仮称)北郷ふるさとマップ”の作成と活用



3 交流によるにぎわいづくり

北郷地域で、すでに行っている交流の機会を充実させるとともに、地域外の人々との交流の機会も創り、活気にぎわいがあふれる地域にしていきたいと思います。

具体的な活動案

- ①従来からの“集い”の充実
- ②“集い”を住民主体で開催
- ③“特産品”の情報発信
- ④“集い”の魅力の情報発信



2 暮らしやすさを育む

子どもからお年寄りまで誰とでも気軽に声をかけ合える、安心・安全な地域づくりにみんなで取り組み、買物やバス交通などの利便性についてみんなで考え、暮らしやすさを育んでいきたいと思います。

具体的な活動案

- ①“北郷あいさつどおり”の周知
- ②“見まもり隊”の結成
- ③ゾーン30の指定（歩道、街灯の整備）
- ④公共交通等の利便性向上
- ⑤買物環境充実の検討



4 健康でいきいき・長生き

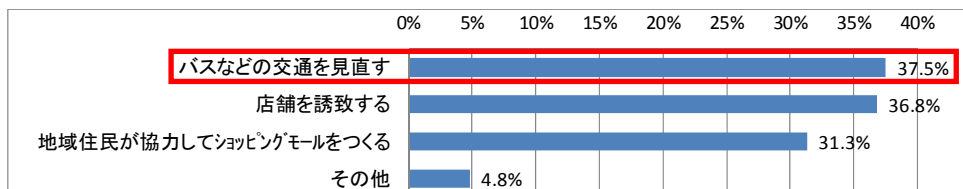
北郷地域で多世代が一緒に暮らす強みを生かし、家族全員がお互いを気づかい、健康への意識を高めましょう。健康を保つために、地域の集いや活動に積極的に参加しましょう。

具体的な活動案

- ①“集い”や活動への積極的な参加
- ②ウォーキングなど、体を動かす場づくり
- ③みんなで楽しく食べる場づくり



○アンケート結果（地域の生活利便性（買い物や公共交通の利便性）を高めるための施策）



(5) 須走地域金太郎計画 2020 平成27年3月【※須走まちづくり推進協議会】

将来像	目 標			
す・ば・ら・し・き 須 走 富士山にいだかれ、恵みを大切にしたい豊かなふれあいが、人を輝かせるまち	す 住むことが 楽しい	“住みたい” 気持ちを抱けるまち ・須走暮らしの魅力体験、発信 ・富士学校関係者の定住促進	“住み続けたい” 気持ちが育つまち ・魅力的な生活拠点の形成 ・地域ぐるみで子育て支援 ・健康・医療サービスの利便性向上 ・幼保小中（学校）連携	暮らしの安全・安心を 高める ・顔の見える地域づくり ・富士学校や他の自治体等との協力による災害対応、救急医療の体制構築 ・備蓄など災害への備え ・生活必需品全般をストックできるスーパー等の誘致
	ば 場の力で 観光・交流	世界遺産のまち須走を アピール ・須走口富士登山の再興 ・国道 138 号 IC 周辺玄関口機能の充実 ・本通りの散策機能強化 ・道の駅、浅間神社、本通りの回遊性強化	須走の資源の 磨き上げ ・立山、豊富な水等自然や歴史資源の活用 ・公園等の有効活用	新たな観光交流 資源の創出 ・新たなイベントの創出 ・市民活動や起業等チャレンジ活動への支援
	ら 来訪しやすい 向上	広域圏での存在感 向上 ・ぐるり富士山風景街道など広域連携事業への参画 ・富士学校等での既存広域集客イベントの活用	広域交通網整備に 併せた集客・誘導 ・道の駅すばしりの活用 ・新東名高速道路御殿場 IC、(仮) 小山スマート IC、及び R138 号からの誘導機能充実	情報発信力の 向上 ・マスコミのフル活用 ・ホームページ、SNS による情報発信強化 ・富士学校関係者への継続的な情報提供、口コミ活用
	し 仕組みを 整える	域内経済循環の 構築 ・イベントなどでの機会損失を減らす連携体制 ・新規開業者の誘致 ・地製、地消商品の開発	住機能と観光機能の 調和 ・ゾーニングに基づく計画的土地利用 ・生活拠点エリアの計画的な形成	緊急時対応体制の 充実 ・災害初動時の適切な判断 ・情報提供、避難誘導が可能な体制 ・富士山噴火時の緊急避難体制の整備（ヘリ避難、シェルター整備等） ・ボランティアの受入体制整備
	き 協働で 進める	まちづくり推進協議会 の効果的な運営 ・須走地域内の地域活動団体間の連携体制構築、強化 ・総合計画の進行管理 ・まちづくり事業の優先順位づけ、戦略的展開に向けた企画、調整	地域内の合意形成力の 向上 ・まちづくり情報の共有 ・まちづくりリテラシーの育成 ・住民のニーズ、ウォンツの把握	

4-9 御殿場市地域公共交通網形成計画 平成 28 年 3 月 (予定)

■基本理念■

**地域の活性化と、日常生活の安全・安心に寄与し
将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築**

■計画の基本方針■

<まちづくりとの一体性の確保>

少子高齢化が進行するなか、子どもから高齢者まで幅広い世代が安全で安心に暮らすことのできる都市を目指すために、また、交流都市の実現と地域の活性化に寄与するために、市民や観光客等によって移動しやすく、将来にわたって持続可能な公共交通の確保について、まちづくりと一体となって取り組みます。

<地域特性に応じた効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの形成>

JR 御殿場線の沿線地域である御殿場地区、富士岡地区では、鉄道駅等を交通拠点とし、交通拠点での鉄道や路線バスの乗降・乗り継ぎが効率的でわかりやすい公共交通ネットワークを構築するほか、市郊外部の高根地区、玉穂地区、原里地区、印野地区では、道路整備状況を加味した上で、地域拠点や交通拠点と連携する路線バス網の構築を図るとともに、公共交通空白地域などの路線バス網の形成が困難な地域では、新たな公共交通システムを導入するなど、地域特性に応じた効率的で利便性の高い公共交通網の形成を図ります。

<市民を含む関係者の連携>

地域公共交通は、市民の通勤や通学、買い物や通院など、日常生活に必要な移動手段であるほか、コミュニティの形成に当たって不可欠な地域の共有財産としての役割も有していることから、地域公共交通ネットワークの形成には、市民ニーズを的確に反映させるだけでなく、市民や企業等の関係者の地域公共交通への積極的・継続的な関与を推進するとともに、地域公共交通に対する理解と利用促進を図ります。

■計画の目標と施策■

<公共交通空白地域の解消>

- ・公共交通空白地域の解消を図るための新たな公共交通システムの実証運行と、本運行に向けての検証を実施します。また、その結果を基に、市内の他の公共交通空白地域対応や、福祉施策等と連携の上、交通弱者対策のための新たな公共交通システムの導入可能性の検討を行います。

■計画の目標と施策■

＜路線バスネットワークの充実＞

- ・日常生活交通バス路線の確保維持を図るとともに、支線系統を中心に、地域拠点、観光拠点、産業拠点の連携を強化するための地域特性に応じたバス路線の再編や新設の検討を実施します。
 - 小山高校線・正倉線・上野線・富士霊園線：小山町と御殿場市を跨ぐ日常生活交通路線として確保維持を図る
 - 駿河小山線・河口湖線：広域的な交流ネットワークを形成し、市バス路線網の基幹となる地域間幹線系統として確保維持を図る
 - 富士学校線：河口湖線とともに、日常生活交通路線として確保維持を図る

＜交通結節点での利便性向上＞

- ・バス停施設やベンチ等整備促進により、路線バスの待合環境を改善します。
- ・路線バスの乗り継ぎや待合施設としての公共施設等の活用と、路線乗り入れを検討します。
- ・御殿場駅周辺等の交通拠点における交通広場整備と、パーク・アンド・ライド駐車場の整備の検討を行います。

＜公共交通に関する情報提供の充実＞

- ・バス路線の運行経路や乗り継ぎ場所、割引サービス等を掲載した総合的な地域公共交通マップの作成を行います。
- ・公共施設や観光、商業施設案内等で、バス経路や時刻表等の公共交通利用案内の併記を促進します。
- ・外国人観光客等の公共交通利用に対応するために、案内情報の多言語化を促進します。

＜公共交通遺児に関する理解促進と自発的利用意識の醸成＞

- ・公共交通のニーズ把握のための地域住民参加型のワークショップや意見交換会を実施します。
- ・地域住民の実態やニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施します。
- ・学校や各種団体等でのバスの乗り方教室の開催や、企業等のノーカーデーを通じて公共交通利用を啓発します。

＜身近な移動手段としての認知度の向上＞

- ・バスの日（9月20日）を中心とした啓発活動を実施します。
- ・市広報紙やホームページ等の広報媒体を活用した、公共交通施策や公共交通整備内容等の周知を行います。

○公共交通ネットワーク形成のイメージ

河口湖線

駿河小山線

北部の公共交通空白地域

青少年交流の家線

富士山樹空の森

印野

太平洋C御殿場C

御殿場C

御殿場JCT

十里木線

富士岡支所

御殿場市

南部の公共交通空白地域

箱根登山バス線

三島線

凡例

施設

- 公共施設
- 商業施設
- 学校
- 病院
- 観光施設
- 工業団地

高速道路

高速道路(事業中)

鉄道駅

鉄道路線

バス路線

市町村界

0 0.5 1 2 3 4 キロメートル

5. 他都市の事例

5-1 隣接市町村の事例

(1) 富士宮市

【富士宮市第2次地域公共交通総合連携計画(平成26年2月)】

“地域の実情に即した便利な生活交通の実現”

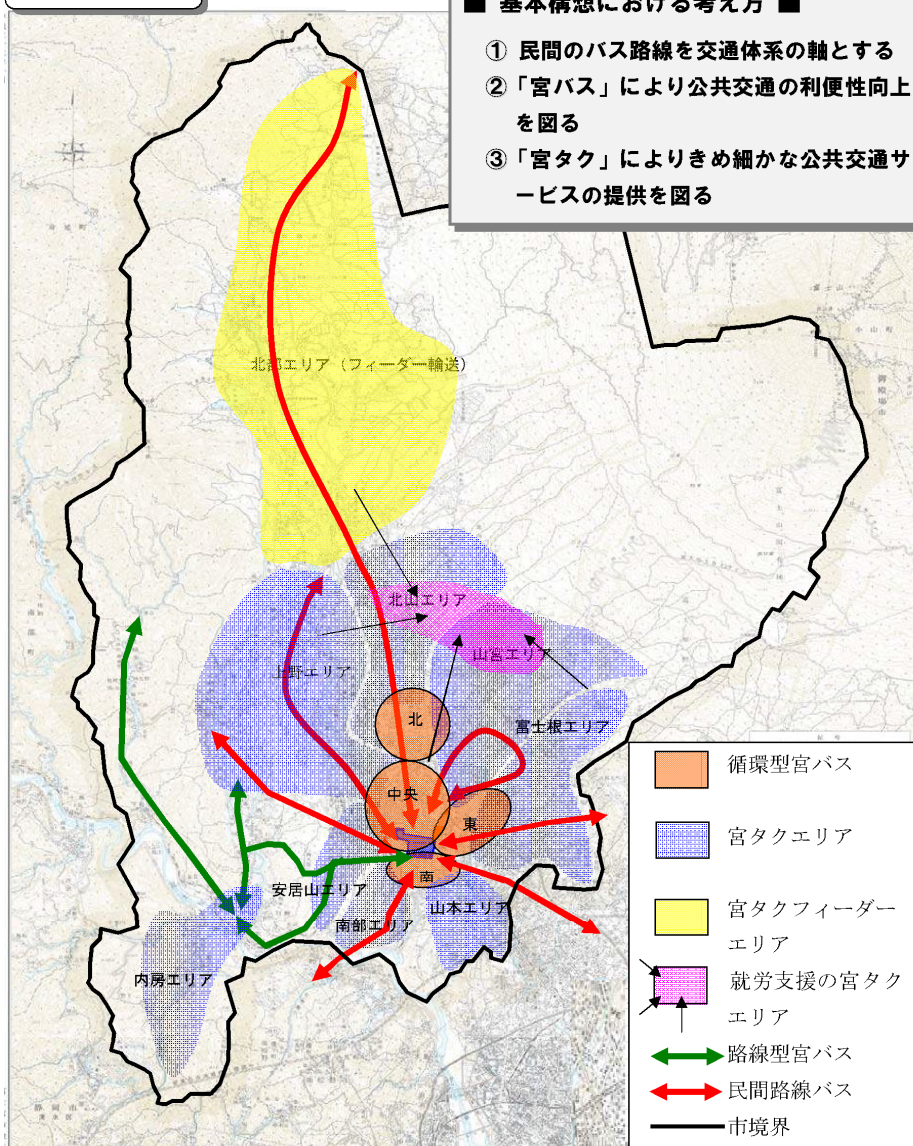
基本方針

1. 誰もが利用できる公共交通網の維持
2. 高齢者をはじめ、地域住民の足となる公共交通体系の整備
3. 地域や企業が支える公共交通の仕組みづくり
4. 地域協働による、公共交通の利用環境の向上

目標

- 路線バス及び宮バスの運行を維持する
- 路線バスと宮バス・宮タクの連携及び宮タクの利便性向上によるきめ細かな公共交通サービスの提供を図る
- 各事業所・企業・団体などの支援受入態勢の充実を図る
- 市民・交通事業者・行政による連携を図り、地域協働推進事業を実施する

基本構想図



■市営公共交通サポーター制度

市営公共交通サポーター制度は、市営公共交通（宮バス・宮タク）を支援・応援していただける市内の商店、病院（第1事業者）、自治会（第2事業者）等の団体に、市営公共交通の安定的な運営と運行を支えるサポーターになっていただくもの。

サポーターには宮バス・宮タクで利用できるお得な市営公共交通サービス券（1枚100円のサービス券を12枚セットで1,000円）販売。

●サービス券の利用

- ・1,000円以上の買物に対して100円のサービス券
- ・宮バス・宮タクで通院している方へのサービス券
- ・自治会活動に対するお礼としてのサービス券
- ・地域の祭等の景品としてのサービス券

●サービス券は有効期限内であれば、宮バス・宮タクの運賃を支払う際、金券として利用できる。

●サポーター登録した団体には

市営公共交通サービス券「100円券12枚綴り1,200円分」を1,000円で販売。

○サービス券の有効期限は販売日から6ヶ月後の末日までです。払戻しは一切できない

○サービス券の配布方法について

（商店、病院等の経営をしている事業者）

原則として、1,000円の支払に対して1枚（100円分）のサービス券を配布できるものとする。

1件当たりの配布枚数上限は各事業者で定めることができる。

（自治会等の営利を目的としない団体）

自治会等が行う活動（清掃運動等）の対価として、サービス券を配布できるものとする。

1件当たりの配布枚数は自治会等の判断によるものとする。

●市営公共交通サポーターへのサービス

市が発行する時刻表やホームページでサポーターのお名前やサービス内容を紹介。

(2) 富士市

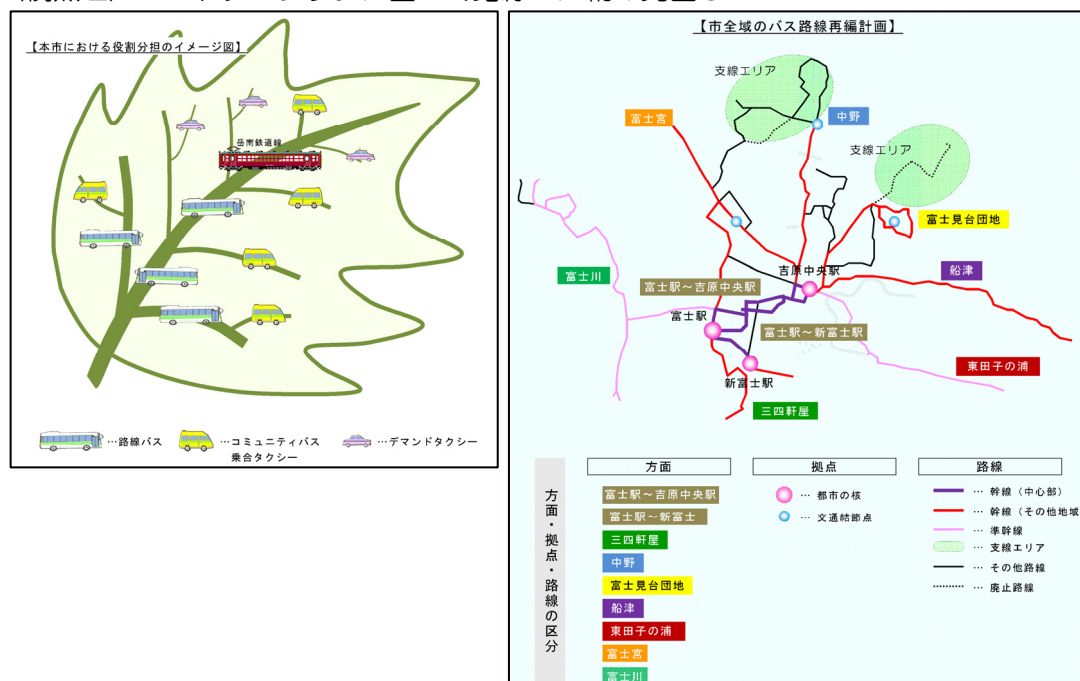
【富士市地域公共交通総合連携計画(2014～2020)】

■公共交通活性化・再生の目標

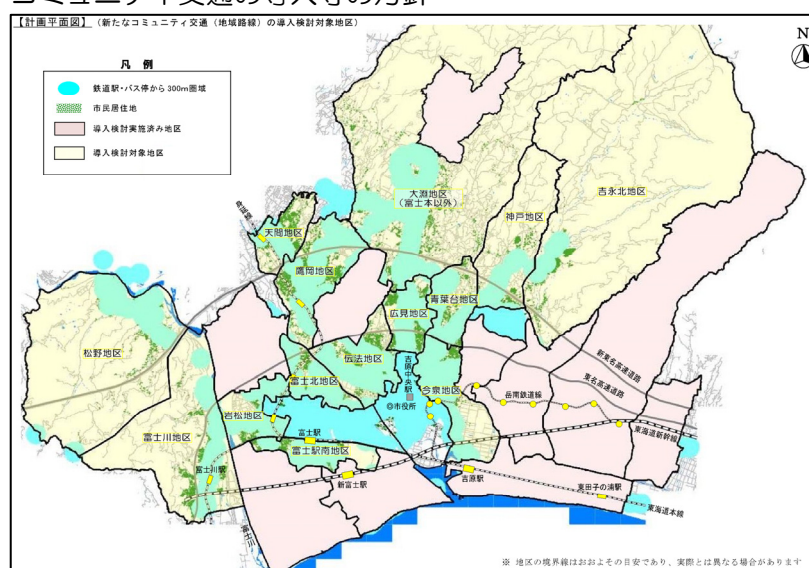
- 目標 1 公共交通利用可能エリアの拡大
- 目標 2 安全・安心で質の高い運送サービスの提供
- 目標 3 まちづくり施策等との連携の強化
- 目標 4 みんなで創り・育て・守る機運の醸成（協働事業）

〈視点 1〉各交通モードの役割分担による公共交通網の再構築

〈視点 2〉パートナーシップに基づく路線バス網の見直し



〈視点 3〉コミュニティ交通の導入等の方針



5-2 施策展開の参考事例

(1) 住民等のサポートの例

【かしてつバス・住民参加によるサポーター制度等】石岡市

＜取り組みの経緯＞

●かしてつバスネットワークニュース

平成 23 年 1 月 26 日 「かしてつバスネットワークニュース」を創刊

かしてつバス情報や地域の身近な情報を掲載

平成 27 年までに 16 回発行

●かしてつバス・サポーターズクラブ

年会費：一口 1,000 円（一口以上何口でも可）年度毎更新

会員特典：一日フリーきっぷの進呈（一口に 1 枚）

定期券の特別割引（通常より 10%引き）

かしてつバス・サポーターズクラブ会員募集！

◆加入対象
かしてつバスを応援していただける方

◆会員期間
入会日から平成24年3月31日まで
(年度ごとの更新になります。)

◆年会費
一口1,000円(一口以上何口でも可)

◆会員特典
1日フリーきっぷの進呈(一口に1枚)、
定期券特別割引(通常より10%引き)等

◆申込方法
最寄りの定期券取扱所

① 関鉄グリーンバス 関石岡営業所
② 関鉄グリーンバス 関鉢田営業所
③ 関鉄グリーンバス 関柿岡営業所
④ お菓子処ながい (小川委託販売所)
⑤ 御菓子司吉田屋 (玉造委託販売所)
(窓口でお申し込みの場合は会員証を即日発行いたします。)

※郵送によるお申し込みも受付けております。詳しくは事務局にお問合せください。

◆お問合せ
かしてつバス・サポーターズクラブ事務局
(関鉄グリーンバス本社内)
☎0299(35)3303
※定期券特別割引は平成23年4月1日以降からの適用となります。

かしてつ沿線地域公共交通戦略会議では、『かしてつバス』をみんなで応援し、地域の活性化とバス路線の維持確保を図ることを目的とした『かしてつバスサポーターズクラブ』を立ち上げました。

多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

●かしてつバス応援団

沿線周辺の7つの高校がマスコットキャラクターを作成するなどの応援活動を実施

●バス専用道にアジサイを植栽（平成 24 年 10 月）

●スタンプラリー開催（平成 25 年 1 月 30 日～3 月 3 日）

●「かしてつ弁当」を開発

かしてつバス応援団の石岡商業高校の生徒がかしてつバスをPRするためかしてつ弁当を開発。1個500円にて販売。

かしてつ沿線地域の高校生
で組織する、かしてつバス
応援団のマスコット
『かしてつバスくん』
です。

